

# 小規模事業所における 結核検診実施に関する調査と その後の取り組みについて

小岩保健所 健康サービス課長 高橋郁美

## 1、はじめに

江戸川区は人口63万人、事業所従業員数20万人、うち区内在住が7割を占める職住近接の町です。事業所数は平成8年事業所統計調査によると2万7074所あり、このうち産業医の選任が不要とされている50人未満の事業所は2万6618（98・3％）と、事業所のほとんどが小規模事業所です。

江戸川区で毎年行っている区民健診における40、50歳代男性の受診率（行政健診の対象率で計算）は10％台であり、全年齢の受診率が約45％であるのに対し極めて低く、また結核罹患率が高く、生活習慣病をもっている者が多いことが

らもこの層への働きかけが課題でした。40、50歳代男性は職場健診を受けている可能性もありますが、小規模事業所の多い江戸川区では健診が十分実施されていないことが推測されており、その実態は把握されたことはありませんでした。

そこで、平成10年度結核対策特別促進事業として従業員50人未満の区内事業所に対して健診実施状況のアンケートを実施し、健診体制の整備に向けて検討する基礎資料としました。

## 2、調査の対象と方法

平成9年現在江戸川区に登録されている全事業所の中から、従業員数が1～49人の事業主あてに質

問票を郵送し、回答を返送してもらい集計解析を行いました。調査は財東京都結核予防会に委託しました。

## 3、結果の概要

### (1) 回収率と事業所の背景

質問票は2万82事業所に発送し、1976事業所（回収率9・8％）から有意の回答を得ました。そのうち従業員1～4人の事業所が63・6％を占めていました。

業種別内訳は、卸売、小売、飲食店が最も多く、26・1％、製造業（25・7％）、サービス業19・4％と続いています。

従業員延べ1万3485人の71・2％が男性で、年齢構成は40・1％が40歳未満、13・3％が60歳以上でした。

### (2) 職場健診実施状況

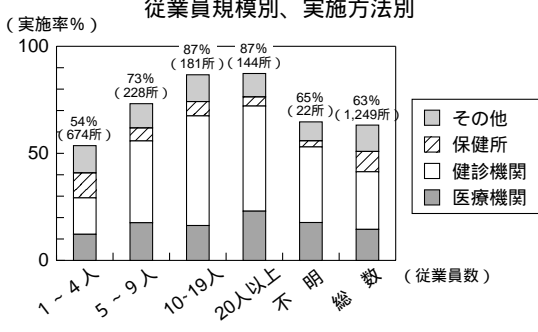
「毎年職場健診（胸部レントゲン検査を含む）を実施していますか」の問いに対して全体では「はい」が1249所（63・2％）でしたが、従業員規模別に見ると、20人以上の165所中144所（87・3％）を最高にして規模が

小さいほど実施率は低くなり、1～4人では1256所中674所（53・7％）と約半数の事業所でしか実施していないことがわかりました（図1）。

「職場健診をどのように実施していますか？」の問いに対して、「健診機関で実施」が532所（42・6％）と最も多く、「医療機関で実施」が287所（23・0％）でこれに次ぎ、「保健所で実施」は188所（15・1％）でした。

業種別には著しい差はありませんでしたが、従業員規模別では規模

図1 職場健診実施状況  
従業員規模別、実施方法別



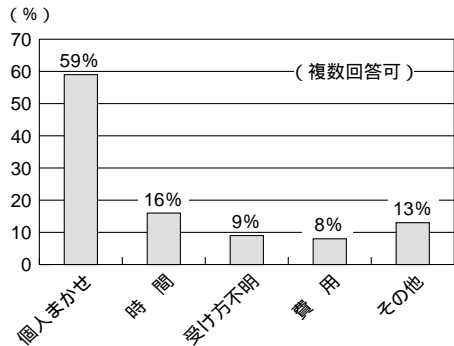
の小さい事業所ほど保健所を多く利用していました(20人以上で4.9%、1~4人で21.8%)。

さらに従業員1~4人の事業所のうち職場健診を実施していない事業所と実施しているかどうか不明だった582事業所に対して「従業員の方はどのようにして健診を受けられていますか?」と、職場健診以外の個別的な健診の機会について尋ねたところ、対象者879人中回答者253人のうち74.3%が何らかの機会に健診を受けていると答えました。しかし、そのような健診を受けていない人は非回答者626人の方に偏っていると考えられるため、全体数で計算しなおすと、職場健診以外で何らかの健診を受けている人は21.4%しかないといと推測されました。

### (3) 職場健診不実施に関する要因

職場健診を実施していない事業所と実施しているかどうか不明だった727事業所に対する「職場健診を実施していないのは何故ですか」の問いに対して、「時間がない」(11.5所、15.8%)や

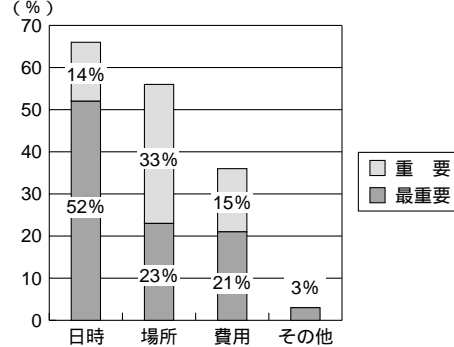
図2 職場健診不実施の理由



「費用の負担が大きい」(61所、8.4%)よりも「各個人に任せている」が428所(58.9%)と最多でした(図2)。

(4) 職場健診実施のための条件「職場健診を実施するに当たって、どのような条件を重視しますか」の問いに対して、「日時」を最重要、重要とした事業所が合わせて1153所(66.4%)と最も多く、次いで「場所」「費用」の順でした(図3)。健診の実施、不実施による差はありませんでした。「健診を受けやすい日時はいつですか」の問いに対して、969所(53.8%)が「平日」を希望し、

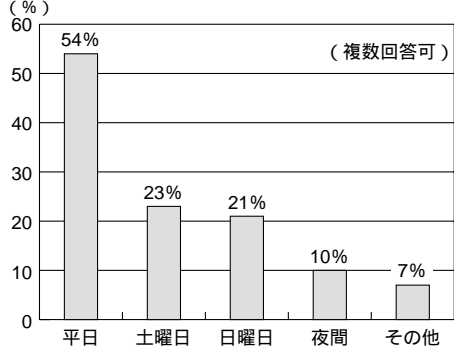
図3 職場健診実施で重視すること



続いて「土曜日」が423所(23.5%)、「日曜日」381所(21.1%)、「夜間」184所(10.2%)の順でした(図4)。

「健診を受けやすい場所は」の問いに対して、健診実施群では「健診機関」が398所(31.9%)と最も多く、次いで「医療機関」359所(28.7%)、「保健所」286所(22.9%)でした。健診不実施群では「健診機関」が83所(11.4%)と少なく、「医療機関」が312所(42.9%)と最も多く、「保健所」も241所(33.1%)と健診実施群よりも高率でした。

図4 職場健診を実施しやすい日時



## 4、調査後の対応について

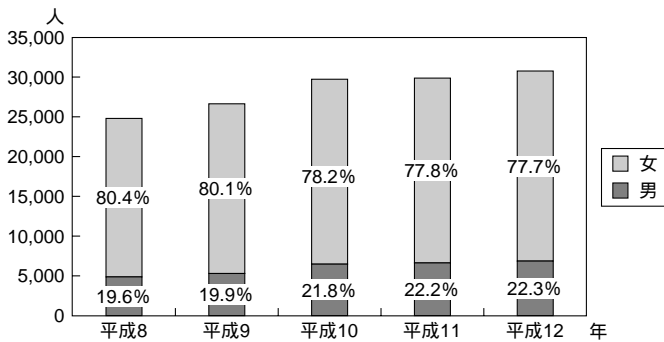
回収率は9.8%と高くはありませんでしたが、今回従業員50人未満区内事業所1976件の回答を得ることができ、小規模事業所における健診実施率の低さを実態として把握することができました。従業員5人未満の事業所における健診実施率は5人以上の事業所の80.6%と比較して53.7%と低く(未回答の理由は不明ですが、おそらく健診不実施と思われるため、未回答の事業所を含めると健診実施率はさらに低くなると推測されます)、さらに不実施の理由

として「時間が無い」「費用負担が大きい」ではなく「各個人にまかせている」が最も多く、この層への働きかけが重要であることが示唆されました。

この結果から、小規模事業所の中でも特に健診実施率の低かった従業員5人未満の事業所における健診体制整備の必要性が示されました。しかしこの層の健診に対する関心は低く、実際に事業主が健診を実施するのは困難と推測されました。そこで平成11年度から江戸川区では従業員5人未満で健診を実施していない事業所には積極的に区民健診を活用していただくよう働きかけることにしました。今回の調査に協力頂いた事業所については結果の報告と共に区民健診の活用をすすめるダイレクトメールを送りました。またファミリーヘルス推進員(区が家庭婦人に委嘱して地域での健康づくりに協力していただいている)にも、近所で従業員5人未満のお店などがあれば区民健診に誘っていただくようお願いしました。

また、健診の実施に当たって重視する条件としては「日時」が最

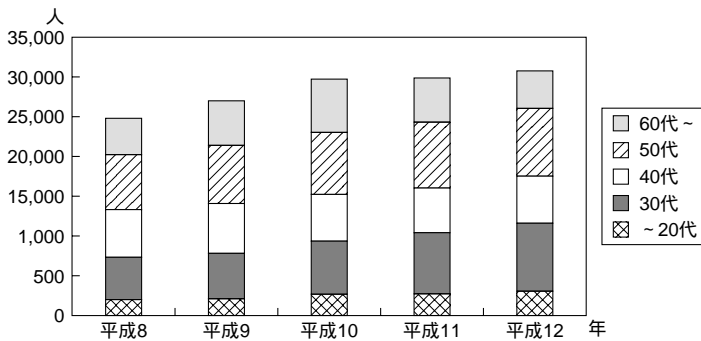
図5 区民健診男女別受診者数推移



も多く、受けやすい日時としては「平日」に次いで「土曜日」をあげていることから、平成10年度より年2回試行していた土曜日健診を平成11年度から年4回に拡充実施することになりました。

このような働きかけの結果、60歳未満を中心に行っている区民健診における男性受診者の増加傾向が見られました(図5)。また年齢

図6 区民健診年代別受診者数推移



的には男女共30歳代の若年層で特に増加しました(図6)。なお60歳代の減少傾向については、平成11年度より64歳以上を熟年健診に誘導したためと思われる。また平日開催に比べ土曜日開催では、やはり男性受診者と若年受診者が多く、さらに新規受診者も多い傾向が認められました(表1)。

これらの対応による効果はまだ

表1 平日開催と土曜日開催の比較

		平成10年		平成11年		平成12年	
		実人数	%	実人数	%	実人数	%
全受診者	平日	29,157	100	28,140	100	27,934	100
	土曜日	567	100	1,727	100	2,824	100
男性受診者	平日	6,263	21.5	6,000	21.3	5,812	20.8
	土曜日	211	37.2	627	36.3	1,048	37.1
新規受診者	平日	7,475	25.6	6,274	22.3	6,812	24.4
	土曜日	361	63.7	857	49.6	1,200	42.5

十分とは言えませんが、健診不実施群の約3割が健診を受けやすい場所として保健所を挙げていることから、今後さらにこの調査結果を基に小規模事業所における健康管理の支援に取り組んでいきたいと思えます。

本調査に際しご指導ご協力いただいた結核研究所森亨所長に深謝いたします。



## 第43回胸部検診車「けいりん号」完成伝達式行われる

平成12年度日本自転車振興会補助事業により製作された「けいりん号」(胸部検診車11台)の完成伝達式が9月27日(水)、総裁秋篠宮妃殿下のご臨席を仰ぎ、ホテルニューオータニ悠の間で行われました。式典の中では、妃殿下より各支部代表者へけいりん号の鍵が授与されました。また、厚生大臣、日本自転車振興会小川邦夫会長よりそれぞれご祝辞をいただき、最後に受配支部を代表して、岩手県支部小山田副支部長が謝辞を述べられました。

今回製作の胸部検診車は、150kVの高圧X線発生装置と最新型の直・間撮影装置を搭載した検診車4台をはじめ、身障者や高齢の方々が楽に検診を受けられる検診車が4台、駐車スペースが狭い場所でも検診ができるよう小型化した検診車が2台、そして胃・胸部併用型検診車1台です。

祝辞を述べられる  
日本自転車振興会  
小川邦夫会長



昭和33年以来、毎年製作されてきた胸部検診車「けいりん号」は、今回の配車台数11台を加えると751台に達しますが、すでに廃車した台数を除くと、262台が稼動することになり、検診活動にさらなる活躍が期待されます。

事業部資金課

### 【本部関連行事】

- ・9/6 協業化・情報処理ワーキンググループ(本部)
- ・9/18・19 東海北陸地区結核予防婦人団体幹部講習会(静岡)
- ・9/27 けいりん号完成伝達式、結核対策推進優良市町村表彰式 総裁ご臨席、天皇皇后両陛下下拝謁(ホテルニューオータニ、皇居)
- ・10/5・6 関東・甲信越地区支部ブロック会議(千葉)
- ・10/12・13 北海道・東北地区支部ブロック会議(青森)
- ・10/12・13 「けいりん号」X線技術講習会(結核研)
- ・10/19・20 近畿地区支部ブロック会議(奈良)
- ・10/26・27 中国・四国地区支部ブロック会議(山口)

### 【マスコミ資料】

#### 結核

- ・8/19 読 厚生省研究班などの調査により、初めて結核治療を受けた患者の10%、治療歴のある患者の42%が、主要な治療薬のいづれかが効かない薬剤耐性結核菌に感染していることがわかった。
- ・8/23 西日本 福岡県広川町の知的障害者更正施設で、入所者5人が結核を発病、うち4人が入院、さらに21人に集団感染の疑い。
- ・8/28 読 厚生省は28日、わが国の結核の現状を調べる緊急実態調査を9、12月に行うことを決定。BCG接種の効果や多剤耐性結核の発生や治療状況などを調査し、来年3月に結果を公表、対応策を再来年度の予算に反映させる。
- ・9/5 朝 埼玉県川島町の病院で60代の男性内科医が結核を発病、ほかの医師や看護婦、外来患者ら22人に院内感染した疑い。

#### たばこ・肺がん

- ・8/31 朝 9月15日の五輪開幕を目前に、シドニーがあるニューサウスウェールズ州のレストラニヤカフェが全面禁煙となった。
- ・9/2 朝ほか 日本たばこ産業(JT)は1日、WHOに対し、大手たばこメーカーへの世界規模の一律規制に反対する趣旨の意見書を提出したことを明らかにした。
- ・9/15 朝ほか 国際肺癌学会は14日、東京で開会中の世界肺がん会議で、世界的に増え続ける肺がんの撲滅をめざし、「禁煙に関する東京宣言」を採択。禁煙が肺がんの予防につながるとして、公共施設や交通機関内の禁煙、禁煙のためのたばこ増税額などの対策を、各国政府に求め、産業界やメディアに対しても、たばこの広告や販売活動をやめるよう要請した。